

E Xジョイント免震構造建築用 M Xシリーズ

免震エキスパンションジョイント 施工要領書・取扱説明書

対象製品：床部免震エキスパンションジョイント 屋内・屋外床
本体パネルステンレス製仕上材貼りタイプ
X方向片側せり上がり式 Y方向スライド式 **MX66SP-U**
X方向スライド式 Y方向スライド式 **MX66SP-F**

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください

この度は、弊社免震E Xジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工要領書・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。
なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。
本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

翹カネノウ株式会社

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字繩生81番地

TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

福岡営業所

TEL (092) 432-2532

URL: <http://www.kaneso.co.jp/> E-mail: info@kaneso.co.jp

この内容は2019年12月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

EXジョイントを安全にご使用いただくためのお願い

本製品は正しく取り扱うことで、安全にご使用いただけます。
製品の誤った場所での使用、誤った取り扱い、破損したままの製品を継続して使用することによる、事故の未然防止のため、下記の注意事項をお守りいただくよう、お願いいたします。

設計上の注意事項

設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。

床用のエキスパンションジョイントには設計荷重があります。適用荷重を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。

設計前に必ず使用場所の確認をしてください。

設計前に必ず使用場所の確認をしてください。エキスパンションジョイントは製品によってサイズ・形状・仕様が大きく異なります。設計前に必ず使用場所の確認をしたうえで、製品の選定をしてください。本施工要領書・取扱説明書に掲載されている製品の使用場所以外には使用しないでください。

施工上の注意事項

加工をしないでください。

切断、穴あけ、切削、変形などの加工を施さないでください。製品強度の低下や、錆の発生原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

外部からの強い衝撃を与えないでください。

搬入時などエキスパンションジョイントに、衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

取扱・維持管理上の注意事項

維持管理上の注意について

本体パネルが破損したり紛失した場合は、速やかに取り替えまたは補充をしてください。取り替えまたは補充をしないと、転倒事故などによりケガおよび骨折の恐れがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況や本体パネルなどが所定の位置に戻っているか、ガタツキ等がないかを確認し、安全な状況を確認してから通行してください。

すき間に指を入れないでください。

本体パネルと本体パネルのすき間や、本体パネルと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。

重量の重い部材があります。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

取り付け・取り外しは専門業者に依頼してください。

エキスパンションジョイントの施工および取り扱いについては、製品の機能を維持するため、また、施工・取り付け不良による破損や変形、不具合を防止するためにも施工要領書・取扱説明書記載の手順を厳守してください。清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取り付け・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

鋳鉄製品について

本体パネルの表面がすり減った場合は、速やかに取り替えてください。滑ってケガをする恐れがあります。鋳鉄製品の塗装面にキズが付いたり、常に湿潤な状態では、錆が発生し易くなります。錆が発生した場合は、清掃のうえ再塗装をしてください。

破損、変形、ガタツキが発生したエキスパンションジョイントは使用しないでください。

何らかの原因で、破損や変形あるいはガタツキが発生しているエキスパンションジョイントは、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

ステンレス製品について

ステンレスは、絶対に錆びない金属ではありません。ステンレス製品を美しく保つには、設計、施工上の配慮に加えて、適切な清掃と手入れが必要です。清掃にあたっては、状況に応じた適切な方法を選んでください。また、ステンレス製品のうち、SUS304を使用している製品におきましては、通常、磁性を有しませんが、生産工程における曲げ加工や溶接などにより、加工部分の金属組織が変わり、磁性を持つようになる場合がありますので、ご了承ください。


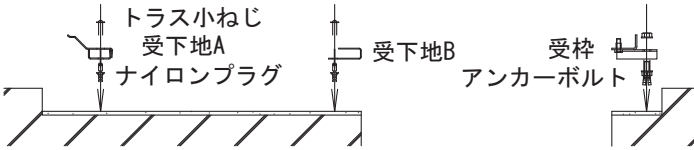
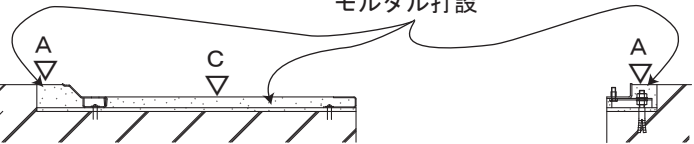
油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。

油などの滑りやすいものがエキスパンションジョイントの表面に付着すると、車両のスリップや歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。

タイル等を清掃する場合の注意事項

タイル等を酸系統(次亜塩素酸ソーダなど)の洗浄液で清掃する場合、金属製品(ステンレス・アルミニウム・鋳鉄・スチールの塗装品および亜鉛めっき品)の錆の発生を防ぐため、金属製品に確実に養生を行うか、清掃後水洗いを十分行ってください。

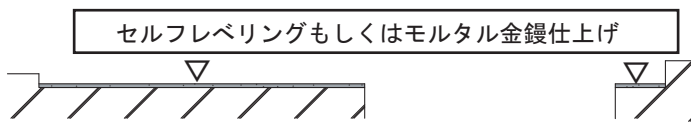
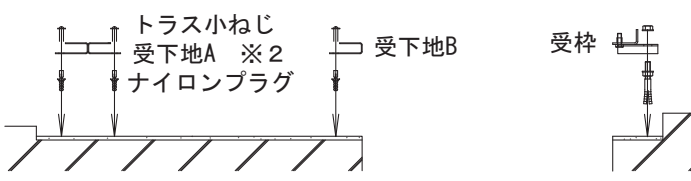
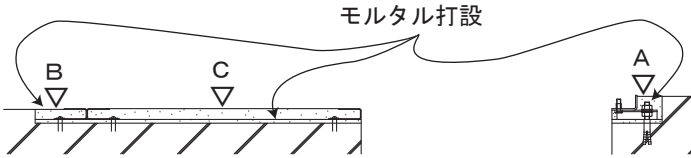
E X ジョイント免震構造建築用 屋外床 MX66SP-U 施工手順①

<p>1</p> 	<p>施工図に従い、スラブを仕上げます。</p> <p>※ 1 ▽部は受下地および受枠を取り付けるためにセルフレベルリングもしくはモルタル金鍍仕上げとしてください。</p>
<p>2</p> 	<p>図面にて寸法確認を行い、受下地 A、B をナイロンプラグ + トラス小ねじで、受枠をアンカーボルトにて固定してください。</p>
<p>3</p> 	<p>モルタルを打設します。</p> <p>※ 3 ▽A 部は床仕上材の厚み分マイナスしたレベルに、C 部は受下地の受面レベルにそれぞれ仕上げてください。</p>

E X ジョイント免震構造建築用 屋外床 MX66SP-U 施工手順②

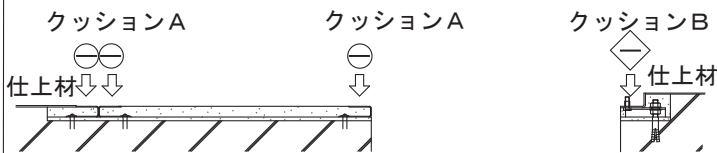
<p>4</p> <p>クッションA クッションA クッションB</p> <p>仕上材 仕上材</p>	<p>まわりの床に仕上材を貼ります。</p> <p>下地の表面を清掃後、クッション材を受下地 A、B および受枠に貼り付けます。</p> <p>※ 4 クッション A は L=1000mm ですきま無く貼り付けます。 クッション B は L=920mm でボルトとボルトの間に貼り付けます。</p>
<p>5</p> <p>←キャップ</p> <p>←六角Uナット</p> <p>←平座金</p> <p>←本体パネル</p> <p>ナット締めすぎ防止スリーブ</p>	<p>本体パネルをセットします。</p> <p>下地の表面を清掃後、本体パネルをセットします。</p> <p>ボルト固定部は下より平座金→六角Uナットの順でセットします。 最後にキャップをはめてください。</p> <p>※ 5 六角Uナットはナット締めすぎ防止スリーブに当たるまで閉めてください。</p>
<p>6</p> <p>床仕上材貼 (別途)</p>	<p>本体パネルの上に床仕上材 (別途) を貼り付けて施工完了です。</p> <p>※ 6 ボルト固定部のキャップの上も仕上材を貼り付けてください。</p> <p>※ 7 工事中はシート、コンパネなどでエキスパンションジョイントを保護してください。</p>

E X ジョイント免震構造建築用 屋外床 MX66SP-F 施工手順①

<p>1</p>  <p>セルフレベルングもしくはモルタル金鍍仕上げ</p>	<p>施工図に従い、スラブを仕上げます。</p> <p>※1 ▽部は受下地および受枠を取り付けるためにセルフレベルングもしくはモルタル金鍍仕上げとしてください。</p>
<p>2</p>  <p>トラス小ねじ 受下地A ※2 ナイロンプラグ</p> <p>受下地B</p> <p>受枠</p>	<p>図面にて寸法確認を行い、受下地 A、B をナイロンプラグ + トラス小ねじで、受枠をアンカーボルトにて固定してください。</p> <p>※2 先端の受下地 B は背中合わせで使用してください。</p>
<p>3</p>  <p>モルタル打設</p>	<p>モルタルを打設します。</p> <p>※3 ▽A 部は床仕上材の厚み分マイナスしたレベルに、B 部は床仕上材の厚みより 1.5mm 差し引いた寸法をマイナスしたレベルに、C 部は受下地の受面レベルにそれぞれ仕上げてください。</p>

E X ジョイント免震構造建築用 屋外床 MX66SP-F 施工手順②

4

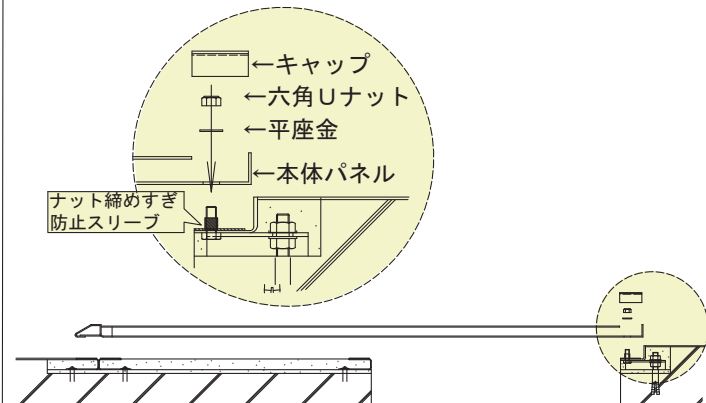


まわりの床に仕上材を貼ります。

下地の表面を清掃後、クッション材を受下地 A、B および受枠に貼り付けます。

- ※ 4 クッション A は L=1000mm ですきま無く貼り付けます。
クッション B は L=920mm でボルトとボルトの間に貼り付けます。

5



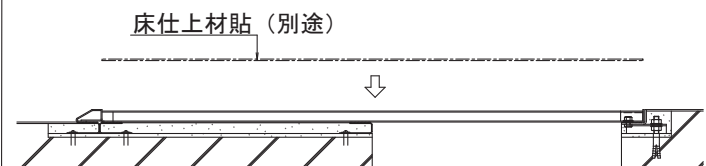
本体パネルをセットします。

下地の表面を清掃後、本体パネルをセットします。

ボルト固定部は下より平座金→六角 U ナットの順でセットします。
最後にキャップをはめてください。

- ※ 5 六角 U ナットはナット締めすぎ防止スリーブに当たるまで閉めてください。

6



本体パネルの上に床仕上材 (別途) を貼り付けて施工完了です。

- ※ 6 ボルト固定部のキャップの上も仕上材を貼り付けてください。

- ※ 7 工事中はシート、コンパネなどでエキスパンションジョイントを保護してください。